

# 福 祉 会 報

社会福祉法人  
大分県福祉会  
大分市頭徳町  
1-13-17  
発行者  
有松一郎  
☎532-3472

## うえの園 20周年 清明あけぼの学園 70周年

ありがとうございます

これからもみなさんとともに

年号が改まった令和元年十一月一日、二園の節目となる開園記念日を迎えた。十一月八日に開催した開園祭では、ボランティアとして活動していただいたいる十四団体と個人二名の方々へ感謝状と利用者が描いた絵をプリントしたト

ここで少し開園時のことを思い起こしてみよう。清明あけぼの学園（平成二十四年十月）の前身である盲児施設「清明寮（清明学園）」は、昭和二十四年十一月大分県立盲学校内（金池町）に定員八〇名で開所した。また、翌昭和二十五年十月にろうあ児施設「あけぼの寮（あけぼの学園）」（上野丘）が定員一三〇名で開所した。両施設とも戦後間もない困難な時代を子どもと職員が丸となって、活気ある学園生活へと変えていった。その後、定員が二三〇名まで増えた時代もあったが、医学の進歩、障害福祉施策の進展、社会環境の変化等により年号が平成へと変わるころには、視覚や聴覚に障がいのある子どもが入所が減少していった。平成六年には両施設が東大道に合築移転し、一緒に生活をするようになった。平成十一年十一月には重複障がいのあ



開園祭での感謝状の贈呈

は、多くの方の「尽力があったことに他ならず深い感謝の意を表す。そして、その中心には利用児者の笑顔があり、障がいのある無しに関わらず幸せを追求するための支援者がいた。障害者差別解消法では、合理的配慮を求めている。それは何よりも心のバリアフリーから生まれるものである。今更以上利用児者が尊重される、そういう施設支援を考えていきたい。

る方の生活を支える知的障害者更生施設「うえの園」が定員二〇名でスタートした。全国で初めての本体併設型施設「障害種別の違う施設が一体的に運営される施設」として日中一時支援事業や宿泊を伴う短期入所事業を実施するなど積極的に地域福祉へ貢献するようになった。



ボランティアの皆さんと利用児者

これはこれまで施設がそれぞれの時代に必要機能を変化させながら続けていくことができたの

### 表彰

#### 厚生労働大臣表彰

#### 栄えある受賞

#### おめでとうございます

令和元年十一月二十二日

（金）、メルパルク東京で開催された、令和元年度全国社会福祉大会において、別府厚生館の安東一夫館長が厚生労働大臣表彰を受賞した。安東館長は、昭和五十五年に入職後、多年にわたり社会福祉事業に携わり、福祉向上に尽力されたご功績によって今回の表彰となった。「表彰の榮譽をたま



わり光栄です。ひとえにこれまで支えていただきました皆様のおかげです。改めて感謝申し上げます。今後も微力ではありますが利用児者最善の幸せのため、お手伝いをさせていただきます。感謝の気持ちを語った。

#### 福祉サービス運営委員会

#### 理事会・評議員会

#### 【臨時理事会】

○令和元年九月十日（火）開催。明野しいのみ保育園改築工事入札予定価格、入札結果及び落札者との契約締結について審議し承認された。

#### 【定例理事会】

○令和元年九月十日（火）開催。職員給与規則の改正、役員等退職慰労金規定、保育所運営規程及び重要事項説明書の変更、積立金取崩し、令和元年度第一次・二次補正予算、パソコン入替について審議し承認された。○令和元年十二月十九日（木）開催。規則改正、森の木地域小規模「きんもくせい」の移転、森の木業務ソフトの導入、明野しいのみ保育園定員変更、明野しいのみ保育園チームコンベクション購入、令和元年度第一次・第二次・第三次補正予算について審議し承認された。

### 年 頭 所 感

新年明けましておめでとうございます。皆様には、令和二年の新春を健やかに迎えられることとお慶び申し上げます。

振り返りますと昨年は、新天皇陛下即位と令和への改元、世界の人々に多くの感動と喜びを与えたラグビーワールドカップ、それと同時に発生した台風・豪雨による自然災害、さらには消費税の改定等、新時代を迎え喜びや希望に満ちた年であったと同時に、改めて自然への畏怖や経済の先行き不透明感等、将来に対する不安を拂拭しきれない年であったと思います。大分県福祉会におきましては、昨年春に改定した中期ビジョンに基づき、明野しいのみ保育園改築事業を始めとして、様々な取り組みがスタートし、新たな時代にあふさわしい一年であったと感じております。



これらひとえに、利用児者及びご家族関係者の皆様のご理解とご協力、またご支援を賜りましたボランティアや地域の皆さま方、さらには関係ご当局よりのご指導、そしてなりよりも情熱と使命感をもって日々の業務にあたっていただいた役職員の皆様のおかげと感謝申し上げます。

## 夢溢れる法人のスタート

### 新しい発想力・組織力・創造性

#### 社会福祉法人大分県福祉会 理事長 有松 一郎

修機会の拡充等を通じ確実な向上をはかつていく所存であります。それに加え、経験や年齢にとらわれることの無く、新たな発想を活かす取り組みとして、問題解決を図ったりイノベーションを興したりする仕組みを新構築したいと考えております。これまでも現場の意見や考え方を活かすために各種委員会設置を行ってきましたが、それらの

を目標として研鑽を重ねる。そしてそこで得た新しい発想や力を利用児者の皆様へと還元していくことこそが、大分県福祉会の未来を切り開くことに繋がると確信をしております。全体のチームワーク（組織力）と個のクリエイティビティ（創造性）を力の源とする、夢溢れる大分県福祉会のスタートの年とすることを約束し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和元年度第一回福祉サービス運営委員会が令和元年十一月二十日（水）本部会議室において開催された。森の木第三委員脇藤幸氏の辞任により新たに、溝邊博見氏に委任状が交付された。仲元研二委員長が挨拶の後、法人本部及び各施設より重点課題や現状、苦情、ヒヤリハットや事故への対応について報告があり協議を行った。利用者家族から「入所者の高齢化や家族会への参加が少なくなっている心配だ」と「登降園時の駐車場付近は、子どもがうろろろするので交通指導は助かる」等の意見があった。また、第三委員会から「各施設重点課題にきちんと取り組んでいてサービスの向上に繋がっている。利用者の満足度となる。情報が足りない」と不平不満とあるので情報をしっかり提供するとよい。また、理念が一つ加わったことは働く職員の生きがいとなり組織も向上する。働く人の意見や提案を事業運営に積極的に取り組むことができる」との講評があった。

心に残る運動会

滝尾保育園



滝尾保育園は平成三十年十一月一日に開園五十周年を迎え、それから一年間、ふれあい



クラス対抗つなひき！

「お父さん頑張って！」

場面もあった。その後もかけっこ、ダンスやバルーンなど、これまで活動してきた成果を元

に力が入ったといえればクラス対抗つなひきである。十クラスからそれぞれ保護者五名、担任

楽しかった！ ケーキ作り



別府厚生館

クリスマスが迫る令和元年十二月二十一日、クリスマスケーキ作りが行われた。

当日は小学生十三名がケーキのデコレーションを通し、大分中央ロータリーアクトクラブ有志の皆さんやその声掛けに賛同



楽しくデコレーション♪

大分中央ロータリーアクトクラブは洋服の寄贈、玉ねぎ収穫の招待と厚生館の利用児者を



フィナーレのバルーンリリース♪

後日、四万十市より嬉しい便りが...

狂言招待

森の木

森の木で読み聞かせのボランティアとして活躍されている平井静穂さんが関わっている「花園文庫」主催の「狂言を楽しむも

能の狂言を目的の当りにし、大いに楽しいひと時を過ごした。

介護福祉機器 リフトキャリア

うえの園

令和元年度、ご家族からの寄付により介護福祉機器のWELLSリフトキャリアが導入された。



安心して入浴できます♪

る環境が整えられたため、ゆっくりと気持ちよく入浴できるようになった。



ありがとう保育園

明野しいのみ保育園

園舎建て替えに伴い、十月二十六日に園舎お別れ会が行われた。



皆が育った園舎で

ぶことが好きだった等たくさん思い出を振り返った。他にも、紙飛行機アートをしたり、

コミュニケーションの場になっている。支援者自身の介護技術の向上は疎かにはできないが、



ワークショップの様子

きた弟の様子が、おかしいので、兄が、山で修業して超能力を身につけたお坊さんにお願いを、



思い出の保育室

特別な動作や声の出し方に子どもたちは大笑いした。二部は、観客が舞台上がって、狂言師から狂言の振り付け、足の運びなど動きの実際を教えるワークショップ

いで、驚きとその面白さに思わず時のたつのも忘れて大いに盛り上がった。体験した子どもたちからは「またやってみたい」「足腰が痛かったけど楽しかった」と笑顔で話していた。

編集後記



無事に「福祉会報第八十一号」をお届けする事ができました。ご協力ありがとうございました。

- 【編集責任者】 安東 一夫 (別府厚生館)
【編集委員】 佐藤 誠 (清明あけぼの学園)
小林 奈未 (森の木)
波多野 加奈子 (滝尾保育園)
佐藤 朱美 (明野しいのみ保育園)
甲斐 遼太郎 (別府厚生館)
【顧問】 釘宮 和代 (事務局長)